

茨城県立石下紫峰高等学校グランドデザイン

目指す学校像と育てたい生徒像

- ・地域社会から信頼され、地域社会に確実に貢献する人財の育成
- ・地域に定着し、地域の多様な社会経済基盤を支え、地域社会を担っていく自立した人材の育成

学校の現状と課題

- ・素直な生徒が多いが受動的な面があり、何事にも積極的に関わっていこうとする態度に課題がある。
- ・真面目ではあるが、地域の多様な社会経済基盤を考える上で、基礎学力の更なる充実が必要である。
- ・就職や働くことへの意識は高いが、業種や職種についての理解が不十分であり、どのように地域社会に関わるか、その意識決定過程に課題がある。

身につけさせたい資質・能力

- ・主体的に物事を判断する能力
- ・基礎・基本となる学力の定着
- ・適切な知識・勤労観・職業観に基づく将来設計能力
- ・社会で求められるコミュニケーション能力

実施後の評価

- ・学力診断テスト等の活用
- ・アンケート等による意識や行動の継続的な比較
- ・生徒の進路希望と実績の一致
- ・保護者や地域へのアンケート実施

資質・能力の育成の手立て

基礎基本の重視

IS ベーシック I II III
少人数授業
習熟度別授業
外国籍生徒のための日本語教育
課外授業・補講の実施

キャリア教育の充実

IS キャリアスタディ I II III
インターンシップ
デュアルシステム
多種多様な「自由選択科目」
大学・専門学校・企業との連携

コミュニケーション能力の育成

部活タイプの授業「体験学習」
オリエンテーションキャンプ
二人担任制
生徒主体の学校行事
部活動・生徒会活動
ボランティア活動
ライフプラン発表会

資質・能力の育成のために何が必要か

- ・単位制を生かしたきめ細かでわかりやすい楽しい授業
- ・家庭・地域と連携した生徒指導の充実
- ・教員間での共通理解に基づく共通行動体制の確立
- ・3年間を見通した計画的・系統的なキャリア教育
- ・集団活動を通した心身の発達と個性の伸長

期待される生徒の変化

- ・学ぶ意欲の向上と確実な基礎学力の定着
- ・人と人のふれあいを大事にし、自律した行動ができるようになる
- ・進路実現にむけた自主的で具体的な行動
- ・好ましい人間関係をつくるためのコミュニケーション能力の向上